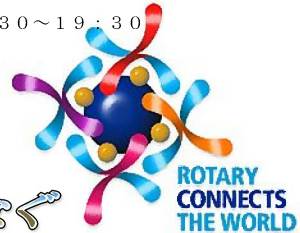


# 皆野・長瀬ロータリークラブ

## 週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30  
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭  
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内  
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134  
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp  
 ◇点 鐘 畝 徳治会長  
 ◇ソング 奉仕の理想



ロータリーは世界をつなぐ

## 第1496回例会 令和元年12月19日(木)

### 【会長の時間】



畝 徳治  
 皆さん、こんばんは。夜間例会では篠原先生の本から抜粋という形でやっています。通常の例会では福澤諭吉さんの本を読んでいます。

今日はいわゆる家庭教育の話で、重要性という事です。「良い習慣はあらゆる可能性の下準備」良い習慣はどこで作られるかという話です。

「家庭は習慣の学校だ」

自らも著書『教育論』にこう記し、習慣は家庭で育まれるべきとの考えを公にしたのは、日本では福澤諭吉が最初だといわれています。この教育論ののちで考えますと、子どもたちに習慣を与える両親の責任は重大です。

生まれたばかりの子どもは何の習慣も持たず、人生をどんなふうにも生きられる可能性を秘めています。その可能性をどう伸ばすかは本人の努力次第なのですが、親としては、せめて良いほうへと方向づけぐらいはしておいてあげたいものです。私は、良い習慣を与えることは、子どものあらゆる可能性に対するに下準備になると思っています。

親がいて、子どもがいて、そうした集団を家族といいます。でも、ただ両親がいて、子どもが誕生すればすぐに家族になれるかという点、本当はそうではないのです。

「子どもは親の背を見て育つ」といいます。立ち居振る舞い、物の食べ方一つとっても、瓜二つという親子をよく見かけます。これは、子どもが日々の暮らしのなかで、自然と親を観察しながら、習っている何よりの証拠だと思います。

つまり子どもに良い習慣を身につかせたかったら、親がそれを実践するのがもっとも簡単で、もっとも確実です。理窟も説明も抜きに、子どもは自然とそれを受け継いでいきます。

以上が日野原先生の話です。付け足すと福澤諭吉は「家族論」で教育に関する家庭の重要性を述べるとともに、その方法にも触れています。

「されども少し考え見るときは、身の挙動にて教えることは書を読み教えるよりも深く心の底に染み込むものにて、かえって大切なる教育なれば、自身の所業は決して等閑にすべからず。」と親の行動が手本として重要であると明言して

います。口で教えるのではなく、挙動で教えないと。親の行動が手本として重要だと名言しています。皆さん自身は子育ては終わっていると思いますが、子供が子育てをする時には、そういう方向で自分の子供さんを指導すればいいのではないかと思います。

日野原先生の話、併せて福澤諭吉さんの教育論を紹介させて頂きました。

17日に深谷クラブに行っておきました。ガバナー補佐選出に苦勞してました。本来当クラブからガバナー補佐を出さなくてはいけないのですが、出せなかったら他のクラブにお願いしなさいと。自分達には出来ないという恥をさらすような感じですが、事情を説明して深谷クラブにお願いしてきました。結果として、言葉では聞こえてきませんが、仕方ないよねというところまでは理解してもらえたと思います。お願いしたという話を次年度ガバナー補佐の新島さんに伝えましたので、今後新島さんが活動してくれるのではないかと期待を持っています。ガバナー補佐選出に関してはこれで終わったのではないかと考えています。



## ニコニコボックス

♪ 12月23日で64才になります。これからも宜しくお願いします。 高田 富康

合計 2,000 円

出席率 100%

点鐘：午後6時30分

★ 於：寶-TERAS

# Merry Christmas



謡曲 胡蝶



乾杯

小林一夫会員



一の



小杉修一会員



二の

岩田 勉さん



三の



宮前英雄会員

